



SAN ホスト パス冗長性の構成、 リリース 12.1.3

目次

新規情報および変更情報	1
ホストパスの冗長性.....	2
診断テスト	3
ホストパスエラー	4
無視されたホスト	5
無視されたストレージ	6
無視されたホストストレージペア	7
著作権.....	8

新規情報および変更情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

リリースバージョン	特長	説明
NDFC リリース 12.1.3	整理し直したコンテンツ	このドキュメント内のコンテンツは元来『Cisco NDFC-Fabric Controller Configuration Guide』または『Cisco NDFC-SAN Controller Configuration Guide』で提供されました。リリース 12.1.3 以降、このコンテンツは現在、本ドキュメントでのみ提供されており、これらのドキュメントでは提供されなくなっています。

ホストパスの冗長性

SAN ホストパスの冗長性チェックでは、非冗長ホスト ストレージ パスを表示できます。これは、エラーを修正するための解決策とともに、ホストエンクロージャのエラーを特定するのに役立ちます。



検出されたすべてのファブリックにライセンスが必要です。そうでない場合、この機能は Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller Web クライアントで無効になります。この機能を無効にすると、ライセンスのないファブリックが検出されたことを示す通知が表示されます。

ホスト パスの冗長性は、NDFC に表示されるエンクロージャ名を使用して、

ポートが同じエンクロージャの一部であると判断します。エンクロージャ名が完全に同じでない場合、それらは個別のデバイスとして表示されます。名前が完全に同じでないとき、

ホスト パスの冗長性と他の機能がそれらを同じデバイスと見なせるようにするため、ユーザーは NDFC のエンクロージャ編集ダイアログで名前を手動で変更する必要があります。

[SAN] > [ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)] を選択します。

診断テスト

1. **[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [診断テスト (Diagnostic Test)]** を選択します。
2. **[診断テスト (Diagnostic Test)]** タブで、チェックボックスを使用してホスト冗長性のオプションチェックを選択します。
3. チェッカーの定期的な実行を有効にするには、**[24 時間ごとにテストを自動的に実行する (Automatically run tests every 24 hours)]** チェックボックスをオンにします。チェッカーは、サーバーが起動してから 10 分後から 24 時間ごとに実行されます。
4. **[Limit by VSANs (VSAN による制限)]** チェックボックスをオンにして、*包含 (Inclusion) * または **[除外 (Exclusion)]** を選択します。テキストフィールドに VSAN または VSAN 範囲を入力して、冗長性チェックから VSAN に属するホストエンクロージャを含めるかスキップします。
5. 他のオプションのチェックをオンにして、関連するチェックを実行します。
6. **[結果をクリア (Clear Results)]** をクリックして、表示されているすべてのエラーをクリアします。
7. **[今すぐテストを実行 (Run Tests Now)]** をクリックして、いつでもチェックを実行します。
8. 結果は、**[診断テスト (Diagnostic Test)]** タブの隣にある関連するタブに表示されます。

ホストパスエラー

[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [ホストパス エラー (Hostpath Errors)] タブを選択して、ホストパス冗長性エラーテーブルを表示します。テーブルの上部には、[良好 (Good)]、[エラー (Errored)]、および [スキップ (Skipped)] の状態のホスト エンクロージャの数が色付きで表示されます。

次の表では、[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [ホストパスエラー (Hostpath Errors)] に表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。これらは、エラーが発生したホストエンクロージャ内の各パスの数です。
ストレージエンクロージャ	エラーが発生している接続された ストレージを指定します。
説明	エラーの説明を指定します。
[Fix]	エラーを修正するソリューションを指定します。エラーをポイントして、エラーを修正するソリューションを表示します。
最初の確認日時 (First Seen)	エラーが最初に発生した時期を指定します。

次の表では、[アクション] メニュー ドロップダウン リストのアクション項目について説明します。
[SAN]、[ホスト パス冗長性 (Host Path Redundancy)]、[ホストパス エラー (Hostpath Errors)] の順に選択します。

アクション項目	説明
無視するホスト	テーブルから行を選択し、[ホストを無視 (Ignore Host)] を選択して、選択した行のホストエンクロージャを除外リストに追加します。そのホストからのエラーは報告されなくなり、現在のエラーはデータベースから削除されます。
ストレージを無視する	テーブルから行を選択し、[ストレージを無視 (Ignore Storage)] を選択して、選択した行のストレージエンクロージャを除外リストに追加します。
ホストストレージペアを無視	テーブルから行を選択し、[ホストストレージペアを無視 (Ignore Host Storage Pair)] を選択して、選択した行のホスト ストレージ ペア エンクロージャを除外リストに追加します。
結果の消去	テーブルから行を選択し、[結果の消去 (Clear Results)] を選択して結果をクリアします。

無視されたホスト

[SAN] > [ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホスト (Ignored Host)] タブを選択して、冗長性チェックによってスキップまたは無視されたホストエンクロージャのリストをスキップの理由とともに表示します。

次の表では、[SAN] > [ホストパスの冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホスト (Ignored Host)] に表示されるフィールドについて説明します。ホスト エンクロージャを選択し、[無視を解除 (Unignore)] をクリックしてホストを無視リストから削除し、無視することを選択したホストに関するエラーの受信を開始します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。
理由を無視する	ホストが無視された理由を指定します。次の理由が表示される場合があります。 <ul style="list-style-type: none">・ スキップ : エンクロージャには HBA が 1 つしかありません。 (Skipped: Enclosure has only one HBA.)・ [ホストはユーザーによって無視されました。 (Host was ignored by the user.)]・ [複数のフェデレーションサーバーによって管理されるホストポート。チェックを実行できません。 (Check can't be run.)・ [スキップ : ストレージへのパスが見つかりません。 (Skipped: No path to storage found.)]

無視されたストレージ

[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたストレージ (Ignored Storage)] タブを選択して、冗長性チェック中に無視するように選択されたストレージ エンクロージャのリストを表示します。

次の表では、[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたストレージ (Ignored Storage)] に表示されるフィールドについて説明します。ストレージ エンクロージャを選択し、[無視の解除 (Unignore)] をクリックして、無視するリストからストレージを削除し、無視することを選択したストレージに関するエラーの受信を開始します。

フィールド	説明
ストレージエンクロージャ	エラーが発生している接続された ストレージを指定します。
理由を無視する	ストレージが無視された理由を指定します。

無視されたホストストレージペア

[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホストストレージペア (Ignored Host Storage Pair)] タブを選択して、冗長性チェック中に無視するように選択されたホストストレージペアのリストを表示します。

次の表では、[SAN] > [ホストパス冗長性 (Host Path Redundancy)] > [無視されたホストストレージペア (Ignored Host Storage Pair)] に表示されるフィールドについて説明します。行を選択し、[無視の解除 (Unignore)] をクリックして、無視されたリストからストレージペアを削除します。

フィールド	説明
ホストエンクロージャ	エラーを含むホストを指定します。
ストレージエンクロージャ	エラーが発生している接続されたストレージを指定します。
理由を無視する	ストレージが無視された理由を指定します。

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco およびCisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.